



災害時での支え合いマップづくり

2月23日(日)、広瀬館交流センターにおいて「災害時支え合いマップづくり」研修会で、災害時におけるマップ作りを行いました。今回は、最大震度5の揺れの地震が発生した事を想定して、助けを必要とする人(独居高齢者、高齢者のみの世帯、障害を持つ人等)、そういった人を支援できる人、避難所などの情報を把握して地図に落とし込む作業を、自治会ごとに4つのグループに分かれ(小坂は北部、南部)行いました。その内容は、

- ① 要支援者を把握する(必要な支援を区分する)
- ② 支援協力者を決める
- ③ 避難所、危険箇所、避難経路の確認
- ④ 支援体制リストの作成

今回は、自治会長、民生委員、福祉推進員、地域づくり協議会社会福祉部員、老人会役員、シルバーリーダー、消防団などから22名の方に参加いただき、取り組んでいただきました。

近年地震、水害、土砂崩れなどいつ起きてもおかしくない災害が多発しており、現実に即応した支援マップを作り上げていただきました。今後のいざという時の安否確認や避難支援を行う際に活用させていただきます。



挨拶の呼びかけが評価される



2月22日(土)、福光福祉会館で令和6年度南砺市福光地域善行表彰式が行われました。

この表彰式は、昭和40年から続いているもので、小中高の児童・生徒の善行を表彰しているものです。この日、15個人・団体が表彰され、南部小学校は、毎朝、運営委員が玄関前に立ち挨拶を呼び掛けているほか、イベントや音楽集会を企画運営するなど児童の主体的な取り組みが評価されました。高瀬龍一郎君(6年東太美)が代表して賞状を受領しました。

西井秀子副支部長は「皆さん一人一人の行いは小さいかもしれませんが、周りの人に多くの種をまき、多くの花を咲かせるでしょう」と挨拶しました。南部小学校の皆さん受賞おめでとうございました。

福光地域の学校はどうなるの？

南部小学校で『福光地域学校統合』説明会が開催される

1月25日(土)、南部小学校において「福光地域学校統合」検討案に関する地元説明会行われました。保護者、南部校区地元住民ら約80人が出席しました。

南砺市教委では昨年12月の検討委員会で提出された、

- (1) 福光地域全域を校区とし小中とも1校ずつとする
- (2) 小学校2校、中学校1校とする
- (3) 現行の中学校区を維持し小中一貫の義務教育学校2校とする

の3つのパターンが示されました。

出席者からは、広域となる学校までの通学手段や義務教育学校のメリット・デメリットを問う声や「複式学級になっても自然豊かな南部小学校を存続することができないのか?」「保護者、PTA、住民の声を聞き、くれぐれも慎重に進めてほしい」などの意見が上がりました。

市教委ではPTA、各地域、団体などから出た声を踏まえ、3月の検討委員会で意見を集約し、さらに議論を重ね、2025年度中をめどに統合後の学校数、使用する校舎、統合時期を決める方針が示されました。



～災害から命を守るには～

一防災講演会開催される一



2月16日(日)、
とやま呉西圏域
連携中枢都市圏
連携事業(防災土
育成事業)防災講
演会がふくおか

総合文化センターUホールとオンライン会場の南砺市役所別館3階大ホールの2会場で開催されました。

当地区の防災士5名は、防災意識の向上をはかるため、そして近年、全国各地で大規模災害が発生しており、当地区でも土砂災害などが発生した場合、どう対処すればよいのかを学ぶために講習会に参加しました。

あおぞら
保育園

最後の親子活動



1月23日(木)、あおぞら保育園において、『親子元気っ子教室』が行われました。

当日は、天候が悪く、保育園内での活動になりましたが、園児たちは親子での楽しい時間を過ごしました。年長組の園児達は、あおぞら保育園での最後の親子活動を楽しみ、3月には、卒園式を迎え、4月には入学式。一年生になるのが楽しみですね。

第10回広瀬館福寿大学

市政出前講座「ゴミの分け方と出し方」

2月13日(木)福寿大学では市政出前講座で、南砺市生活環境課の前山浩課長をお迎えして、「ゴミの分別と出し方」について学びました。



ゴミの量が年々増え、分別法も細分化されて出し方も年々変わり、困ることがあります。参加された皆さんは熱心に聞き入りました。

南砺市のゴミの現状は、市民1人あたりの排出量が県や全国平均と比べて少ないという特徴があるということでした。

また、4月からは出し方に一部変更があり、※白色トレイは、青色の「プラスチック資源ごみ専用袋」に入れて出す。

※金属類と小型家電類は別々に分けて出す。の2点が変更になり分別、出し方への協力を呼びかけられました。

小坂八幡社の算額を視察

2月20日に早稲田大学高等研究所講師のカライスル・アントニアさんが、小坂八幡社に掲げてある「算額」をデータ収集の一環として見に来られました。

日本に現存するすべての算額のデータベースを作成し、世界中の多くの研究者が算額に関する情報にアクセスできるようにするそうです。



— 算額とは？ —

さんかく
算額とは、和算の問題を解いた和算家が、問題を解けた喜びを神仏に感謝して絵馬に書き、神社や寺院に奉納したものです。江戸時代に流行した風習で、日本独自の文化と言われています。

各地区の取り組み事例を聴く



2月2日(日)「アミュー・ホール」において、令和6年度第2回小規模多機能自治「各地区取り組み発表会」が開催されました。基調講演では「こどもの権利と南砺市こどもの権利条例」として、楠井悦子氏(とやま子どもの権利条約ネット事務局)がお話しされました。

事例発表では、『ふるさとを語らんまいけの取組』(広瀬地域づくり協議会)、『TOB 6年間の取り組み』(福野東部地区振興会)、『ママ達の笑顔で地域をもっと元気に♪』(井波地域づくり協議会)の3団体がそれぞれ取り組みを発表され、参加者は発表される事例に聴き入りました。



南砺市では、「南砺市こどもの権利条例」のガイドブックを作成しています。未来につなげるために子ども達の事を考えてみてはどうでしょうか？



「みんなのサロン」—仏事のお話し—



2月12日(水)、祖谷・本敬寺住職の庵了雄師に、仏事の事についてのお話を聴きました。「お内仏(仏壇)は亡くなった人ではなく、ご本尊に対してお参りする」「ろうそくは普段はそのまま使いますが、法事の時には、新しいのを使うのが良い」「鈴は勤行の時以外は打たないほうが良い」など、分かりやすくお話いただきました。

また、今回は、「ひだまりの会」の皆さんに『三色おはぎ』と『具たくさんみそ汁』を振る舞っていただき、参加した皆さんは「とても美味しい～」と喜んでいただきました。朝早くから準備していただいた「ひだまりの会」の皆さん、大変ありがとうございました。これからも楽しいサロンを企画しますので皆さんの参加お待ちしております。

～次回「みんなのサロン」のお知らせ～

- ・日 時 3月12日(水) 9:30～11:00 参加は自由です！
- ・場 所 広瀬館交流センター
- ・内 容 手品、ゲーム、カラオケなどあります。
- ・☆座長 響 俊太郎さん『太陽(ひざし)一座』の皆さんが来られます。

みなさんの参加を
お待ちしております。



3月の青パト巡回日

- ・実 施 日 3月21日(金)
- ・実 施 時 間 午後6時～午後7時の約1時間(時間は任意です)
- ・今月の巡回者 常本 啓文さん、上田 伸一さんです。よろしくお願いします。



3月の予定



日	曜	行 事	時 間	場 所
5	水	広瀬館みらい塾(別途案内)	19:00～21:30	交流センター
6	日	JA 女性部役員会	19:30～20:30	交流センター
7	金	南部小教育振興会役員総会	18:30～	南部小学校
9	日	健康ウォーキング(別途案内)	10:00～12:00	交流センター
11	火	ふれあいクラブ	13:30～15:00	交流センター
12	水	みんなのサロン	9:30～11:00	交流センター
13	木	福光中学校卒業式	10:00～	福光中学校
17	月	南部小学校卒業式	10:00～	南部小学校
20	木	防災訓練	9:00～12:00	交流センター
22	土	健康マージャン	13:30～17:00	交流センター
25	火	ふれあいクラブ	13:30～15:00	交流センター

訃報

加藤昭一さん(館)逝去



1月11日、加藤昭一さん(97才)が逝去されました。加藤さんは永く地域農業振興に従事され、平成3年～12年にわたり福光中央農協組合長として、組合発展のため貢献されました。広瀬館地区にあっては館区長をはじめ、広瀬館地区の役員を努められ、地区発展のため尽力されました。

また、郷土史、書にも造詣が深く、郷土誌・「福光町史」「医王は語る」の発刊にも携わられました。

加藤さんの多大なる功績に敬意を表すると共に、心よりご冥福をお祈り申し上げます。

広瀬館の世帯数・人口 1月末

区分	世帯数	人 口		
		男	女	計
祖谷	43	67	74	141
小坂	97	147	148	295
館	45	66	76	142
計	185	280	298	582